オリジナルアイパッチの考案

小出美和子・塩屋美代子・高橋 悦子・細見 容子
福岡 安子・南村 佳子・西村 和美・吉田 有希

新城眼科医院

Trial of Newly Designed Eye Patch

Miwako Koide, Miyoko Shioya, Etuko Takahashi, Youko Hosomi
Yasuko Fukuoka, Keiko Minamimura, Kazumi Nishimura, Yuki Yoshida

SINJOU EYE CLINIC

要 約

遮閉法を行う際に用いられるアイパッチは、種々なものがそれぞれに工夫されている。今回、皮膚炎を起こしやすい患児の母親が工夫したアイパッチをもとに、オリジナルアイパッチを考案した。接着部の素材は、高純度のアクリル系粘着剤を使用した粘着性伸縮ガーゼ包帯（商品名：シルキーボア）を用いた。目にあたる部分は、遮光性が従来のアイパッチに劣らない事を確認したブロード生地を用いた。

このオリジナルアイパッチを8名の患児に装用してもらった。それぞれの要望に応じて、より個人に合ったアイパッチを工夫する事ができた。

このオリジナルアイパッチは、

1. 低刺激性である
2. 大きさが変えられる
3. 安価である

という利点があった。

別冊請求先（〒880-0035）宮崎県宮崎市下北方町目後899

新城眼科医院 小出 美和子

Tel 0985-29-4700 Fax 0985-25-8095

Key words : eye patch, low irritability, occulusion

アイパッチ、低刺激性、遮閉法

Abstract

Various eye patches for use in masking therapy are available. We have recently newly designed eye patch, modeling after a patch devised by the mother of a child susceptible to dermatitis when wearing an existing eye patch.

This patch is made of elastic gauze bandage (Silky Pore) coated with a high-purity acryl adhesive agent. The part which comes in contact with the eye is made of broad cloth which has been confirmed to have a light-shielding capacity comparable to that of conventional eye patches.

Eight children wore this eye patch. Then, we modified the patch, taking their impressions into consideration, to obtain an eye patch with improved properties.

This eye patch has the following advantages: (1) low irritability, (2) adjustable size, and (3) economical. We believe this newly designed eye patch deserves trial use where appropriate.

I. 緒 言

弱視治療として遮閉法を行う際にアイパッチを使用する機会が多い。

今回、市販のものでは皮膚炎を起こす患児の母親が自らアイパッチを作って使用していた症例を経験した。

市販のアイパッチを考えてみると、症例によっては皮膚のかぶれや大きさが合わない、費用がかかるといった問題点がある事がわかった。これをきっかけに、オリジナルアイパッチを考案したので紹介する。

II. 方 法

オリジナルアイパッチを作製するにあたり、当院で遮閉訓練を行っている患児に簡単なアンケート調査を行った。調査の結果、粘着力や大きさ、装着感などに不満を感じている8名に、それらを改善したオリジナルアイパッチを作製し装着してもらった。

接着部の素材は、低刺激性の評価がある高純度のアクリル系粘着剤を使用した粘着性伸縮ガーゼ包帯（商品名：シルキーポア）で、幅5.0cmと7.5cmのものを使用した。目にあたる布はブロード生地を用いた。これは遮光性が従来のものより劣らない生地として選択した。

作り方は、

1. 患児の顔のつくりに合わせて大きさを決め

る

各個人の鼻の高さ、目と眉の間などに合わせ形を決める。眉毛の部分を覆うか否かも母親と相談しながら決める（図1）。ここで決まった形を厚手の紙に型どりする。この時、遮

図1 個人の顔のつくりに合わせて形を決める

光部になる内側の布もひとまわり小さめに型どりしておく。

2. 1で決めた大きさに粘着性伸縮ガーゼ包帯を切る

始めに形を決めた厚紙を粘着性伸縮ガーゼ包帯にのせ、型どりし、切り取る（図2-A）。

3. 1で決めた大きさに遮光部になる布を切る
小さめに型どりした厚紙を遮光部分になる布にのせ、型どりし、切り取る（図2-B）。

4. 接着生地に遮光布をのせる

粘着性伸縮ガーゼ包帯のテープを半分はがし、布を接着させ、再びテープをもどす。この時、

図2 A 大きい型紙を粘性伸縮ガーゼ包帯に型ど
りする
B 小さい型紙をブロード生地に型どりする

図3 A 型どりして切り取った粘性伸縮ガーゼ包
帯
B 半分だけテープをはがす
C 粘着部に生地を接着させる

半分のみ接着させておき、残り半分は使用前にはがして使うようにするとよい(図3)。

出来上がったアイパッチは、ミノルタ スポットメーターFで遮光性が劣っていないか測定し、従来のアイパッチと同等であることを確認した。

1例を示すと、図4のようにBは市販のアイパッチ、Aは新しく顔に合わせて作ったアイパッチを比べているが、大きさを小さくして作ることが出来た(図4)。

Ⅲ. 考 案

弱視治療においてアイパッチは重要である。しかし、幼少児に使用する場合にかぶれ、顔の大きさに合っていないなどの問題によく遭遇す

図4 A オリジナルアイパッチ
B 市販の1～2才用アイパッチ

る。

今回、かぶれやすい患児の母親が皮膚科で使用した低刺激性のテープを利用して、工夫したアイパッチを作って使用していた症例があった。これをきっかけに、オリジナルアイパッチを考案した。

最初に、従来のアイパッチにどのような不満があるのか、簡単なアンケート調査を行った。かぶれを起こしやすい粘着力の問題以外にも、アイパッチの大きさや装用感、費用などといった不満な点があげられた。

オリジナルアイパッチを作製するにあたり(1)肌への負担を少しでも軽減させるために、接着幅を市販のものよりも狭めること(2)患児ひとりひとりの顔のつくりに合わせて大きさを決め、装用感の良いものにすることが望ましいと思われた。また、この場合、遮光性が保たれることが重要であるが、従来のアイパッチに劣らない

ことを念頭におき、肌ざわりも良いブロード生地を選択した。こうして出来上がったアイパッチの遮光性をミノルタ スポットメーターFで市販されている従来のものと比較し、劣らないことを確認した。また、接着部と布の間に何かをはさむことで遮光性を増すことも可能であり、例えば、黒のフェルト布を使用するとその遮光性は増した。症例によっては、この方法も利用するとよいかと思われた。また、経済性を検討すると、市販のものは高価なもので1枚40円、安価なもので1枚33円であった。オリジナルア

イパッチは1枚11円であった。手間はかかるが安価なアイパッチとなった(表1)。

今回、オリジナルアイパッチを作製することで、長期にわたる弱視治療の際に用いるアイパッチの問題点を軽減することができたと思われる。

参考文献

- 1) 清水小百合, 臼井千恵: 健眼遮閉に用いる各種遮閉具の比較検討. 日本視能訓練士協会誌 20: 159-164, 1992.
- 2) 吉川英子, 他: 新しい遮閉具の紹介. 視能訓練士協会誌23: 118-123, 1995.
- 3) 稲富昭太: 視能矯正. 317-320, 金原出版, 1979.
- 4) 湖崎 克: 遮閉用眼帯「アイパッチ」. 眼科 13: 930, 1971.
- 5) 田辺竹彦: 弱視治療プログラム. 眼科MOOK No. 10: 188-196, 1979.

表1 1枚あたりの価格

市販の アイパッチ	高 価	40 円
	安 価	33 円
オリジナルアイパッチ		11 円